

# 令和5年度 第6回 豊田市井郷地域会議 会議録

開催日時	令和5年9月20日(水)	開会	閉会
		午後7時00分	午後8時00分
会場	猿投コミュニティセンター2階 大会議室		
出席者	地域会議委員：20人		
	会長：加藤 勝 副会長：永江 榮司		
	委員：伊東 由岐雄	稲垣 一志	岩本 直雄
	後田 澄夫	加藤 真郎	加藤 俊治
	大上 二三子	梶原 虎之介	新宮 敏雄
近藤 一也	澤田 章	杉浦 基之	
鈴木 登喜一	鈴木 幹三	高畑 春香	
田中 功	福岡 信明	宮地 俊久	
欠席者	0名		
傍聴者	0名		
事務局	猿投支所：広瀬支所長、太田副支所長、宮石担当長 高齢福祉課：加納課長、清水担当長		
内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 豊田市民の誓い(唱和)</li> <li>2. 会長あいさつ</li> <li>3. 「高齢者の社会参加の促進に関する取組」に関する諮問について ・答申書の授受</li> <li>4. 令和6年度の地域課題解決事業について</li> <li>5. 「第9次豊田市総合計画」に関する諮問について</li> <li>6. わくわく事業2次募集審査結果について</li> <li>7. わくわく事業現場確認について</li> <li>8. 情報共有・事務連絡</li> </ol>		

## ■ 議事(要約)

### 3 「高齢者の社会参加の促進に関する取組」に関する諮問

答申書を会長から高齢福祉課長に手渡し、答申内容の概要を説明(資料1・2頁)  
(高齢福祉課)

→ 昨年度からしっかりと議論していただきありがとうございます。受け取った答申書の内容は、第9期豊田市高齢者保健福祉計画に反映していきたい。また、すぐにできることは実施していきたいと考えている。

今回の諮問は、梅坪、小原を含め3地域に同様の諮問をさせていただいたが、地域の特色に沿ったものもあれば共通の内容もある。周知方法で言えばインターネットを活用した情報収集にはどこでも問題がある。高齢者への周知は、近所の知った顔から誘ってもらおうということは有効であると思う。また、繰り返し提供することも大切と考える。

高齢者の家族に対するアプローチとしては、地域包括支援センターと連携してつないでいけるように考えたい。地域のつながりというのは、高齢者の社会参加にとって非常に大切だと考えている。

#### 4 令和6年度の地域課題解決事業

- ・提言書を市長室で市長に提出した際、ひまわりネットワークが撮影した「とよたNOW」の映像を視聴
- ・当日の市長とのやり取りについて、会長から委員に紹介
- ・令和6年度の事業計画書案「安全で安心して歩けるまちづくり事業」について事務局から説明（資料3～4頁）  
→質疑なし  
結論：事業計画書(案)について承認。詳細については事務局に一任する。

#### 5 「第9次豊田市総合計画」に関する諮問（資料5～15頁）

- ・前月の会議資料について補足説明（第5回会議の資料4～9頁）
- ・事務局から答申書（案）について説明（資料5頁）  
結論：答申書(案)について承認  
→質疑なし
- ・答申書に付する各種意見について説明（資料6～11頁）  
→質疑なし  
※答申書に盛り込んだ方が良いと思う事項について、その理由・背景等を記載して、9月28日（木）までに郵送で事務局まで提出

#### 6 わくわく事業2次募集審査結果

- ・2次募集で申請のあった2事業の内容と交付決定額について事務局から説明（資料16～28頁）
- ・わくわく事業団体の訪問グループ案について（資料29頁）  
結論：団体の訪問グループ案について了承  
→質疑：令和5年度の井郷地区のわくわく事業は全18団体となるが、御船や井上など同じ地域で活動している団体の方向性の共有や、横のつながりが希薄であるため、連携を強化できるといい。  
回答：団体間の連携の在り方については、事務局と相談するので、次回以降で協議してきたい。

#### 7 わくわく事業現場確認

四郷地区「棒の手保存会」、井郷ジュニアスポーツ・カルチャークラブの2団体の活動について、現場視察を行った委員から報告（資料30～31頁）

## 8 情報共有・事務連絡

- ・情報共有なし
- ・事務連絡

(次回の予定)

日時：令和5年10月18日（水） 午後7時から

場所：猿投コミュニティセンター2階 大会議室

内容：諮問答申についての協議